

福井県の温室効果ガス排出量の要因分析（平成20年度）

| 部 門 | 排出量状況・要因分析 | | 統計データ |
|-----------------|------------|--|--|
| 産 業 | 排出量状況 | 基準年度比で15.4%減少し、前年度比でも6.8%減少 | <ul style="list-style-type: none"> ○製造品出荷額の減少 2兆1,612億円（H19年度）→2兆951億円（H20年度）〔H19年度比△3.1%〕 ○燃料消費量（原油換算）の減少 燃料消費量：635,654kl（H19年）→600,892kl（H20年）〔H19年比△5.5%〕 ○電気供給量の減少 産業用電気供給量：4,968,166MWh（H19年）→4,616,411MWh（H20年）〔H19年比△7.1%〕 ○鉱工業生産指数の低下（平成17年=100とした場合） 106.1（H19年度）→101.6（H20年度）〔H19年度比△4.2%〕 ※105.3（H20年4月）→103.7（H20年9月）→70.5（H21年3月）〔H20年4月比△33.0%〕 |
| | 要因分析 | 平成20年9月以降の景気後退を受け、製造業における生産量の減少に伴い、エネルギー消費量が減少 | |
| 運 輸 | 排出量状況 | 基準年度比で14.9%増加しているが、前年度比で1.8%減少 | <ul style="list-style-type: none"> ○低公害車（ハイブリッド車、低燃費・低排出ガス車等）の増加 131,838台（H19年度）→146,498台（H20年度）〔H19年度比+11.1%〕 ○ガソリン乗用車全体の10.15モード燃費平均値の向上 15.7km/L（H19年度）→16.5km/L（H20年度）〔H19年度比+5.1%〕 ○軽乗用車の増加、小型・普通乗用車の減少 軽乗用車：153,274台（H19年度）→160,638台（H20年度）〔H19年度比+4.8%〕 小型・普通乗用車：319,026台（H19年度）→313,570台（H20年度）〔H19年度比△1.7%〕 ※自動車の車種別走行キロ燃費の比較 自家用乗用車：9.1km/L 自家用軽自動車：11.4km/L |
| | 要因分析 | 低公害車の普及が進んだこと、普通乗用車から燃費のよい軽乗用車への乗り換えが進んだこと、貨物自動車の台数が減少したことにより、エネルギー消費量が減少 | |
| 家 庭 | 排出量状況 | 基準年度比で28.6%増加し、前年度比で0.9%増加 | <ul style="list-style-type: none"> ○世帯数の増加 273,552世帯（H19年）→274,817世帯（H20年）〔H19年比+0.5%〕 ○冬期における日平均気温の上昇 2.9℃（H19年1月）→3.4℃（H20年1月）、2.1℃（H19年2月）→5.4℃（H20年2月） ○電気消費量（電灯）の推移 2,220,754MWh（H19年度）→2,215,234MWh（H20年度）〔H19年度比△0.2%〕 ○世帯あたりの灯油購入数量の増加（福井市） 280L（H19年）→299.9L（H20年）〔H19年比+7.1%〕 ○灯油の小売価格の低下（福井市における18L当たりの店頭販売価格） 1,525円（H19年平均）→1,478円（H20年平均）〔H19年比△3.1%〕 ○「わが家のエコ宣言」の登録世帯数の増加 22,497世帯（H19年度）→36,230世帯（H20年度） ○住宅用太陽光発電設備の普及拡大 設置件数：2,534件（H19年度）→2,800件（H20年度） 設備容量：10,319kW（H19年度）→11,364kW（H20年度） |
| | 要因分析 | 暖冬であったが、世帯数の増加により、大幅な電気消費量の減少とならなかったことや、販売価格の低下により灯油の消費量が増加 | |
| 業 務 | 排出量状況 | 基準年度比で58.0%増加しているが、前年度比で0.3%減少 | <ul style="list-style-type: none"> ○業務用電気使用量の増加 2,406,217MWh（H19年度）→2,421,107MWh（H20年度）〔H19年度比+0.6%〕 ○都市ガス使用量の増加 304,207千MJ（H19年）→380,081千MJ（H20年）〔H19年比+24.9%〕 ○プロパンガス使用量の減少 65,248t（H19年度）→61,142t（H20年度）〔H19年度比△6.3%〕 ○「わが社のエコ宣言」の登録事業所数の増加 2,062事業所（H19年度）→3,067事業所（H20年度） |
| | 要因分析 | プロパンガスから単位当たりの二酸化炭素排出量が少ない都市ガス利用への転換が進展 | |
| エネルギー転換 | 排出量状況 | 基準年度比で170.8%増加しているが、前年度比で24.6%減少 | <ul style="list-style-type: none"> ○北陸電力（株）の福井・敦賀火力発電所による供給電力量の減少 10,573,147MWh（H19年度）→7,552,770MWh（H20年度）〔H19年度比△28.6%〕 |
| | 要因分析 | 北陸電力志賀原子力発電所2号機の再稼働に伴い、福井・敦賀火力発電所の発電量が減少 | |
| 工業プロセス | 排出量状況 | 基準年度比で57.6%減少し、前年度比で1.8%減少 | <ul style="list-style-type: none"> ○セメント生産時の石灰石消費量の減少 749,034t（H19年度）→735,477t（H20年度）〔H19年度比△1.8%〕 |
| | 要因分析 | セメントの生産量（石灰石の消費）の減少 | |
| 廃棄物 | 排出量状況 | 基準年度比で16.7%増加し、前年度比で15.1%増加 | <ul style="list-style-type: none"> ○産業廃棄物発生量の増加 廃プラスチック：157,000t（H15年度）→172,000t（H20年度）〔H15年度比+9.6%〕 廃油：33,000t（H15年度）→45,000t（H20年度）〔H15年度比+36.4%〕 |
| | 要因分析 | 産業廃棄物発生量（廃プラスチック、廃油）の増加 | |
| メタン、 一酸化二窒素等 | 排出量状況 | 〔メタン〕基準年度比で13.1%減少し、前年度比で4.1%減少 〔一酸化二窒素〕基準年度比で23.7%増加しているが、前年度比で3.9%減少 〔代替フロン類〕基準年度比で67.2%減少し、前年度比で18.8%減少 | <ul style="list-style-type: none"> ○水田耕作面積の減少 27,500ha（平成19年）→26,800ha（平成20年）〔H19年比△2.5%〕 ○燃料消費量（原油換算）の減少 ※産業部門再掲 燃料消費量：635,654kl（H19年）→600,892kl（H20年）〔H19年比△5.5%〕 ○国の代替フロンガス（SF6等）による温室効果ガス排出量の減少 24.1百万t（平成19年度）→23.6百万t（平成20年度）〔H19年度比△1.9%〕 |
| | 要因分析 | 水田耕作面積の減少、メタン等を発生する化石燃料消費量の減少、SF6（六ふっ化硫黄）の回収等 | |